

**2020年11月号（10月3日発売）**

**特集「井上ひさしとは何者だったのか」**

**井上ひさし没後10年を迎えて**

劇作家・小説家の井上ひさし。『ひょっこりひょうたん島』や『吉里吉里人』を生み出し、幼い子供から年配者までがその作品に魅了されてきた。幅広いジャンルの戯曲や作品に残されている「ことば」（セリフ）には、彼がめざした「ユートピア」がうかがえる――。

◇座談会　井上ひさしとは何者だったか？創作・東北・震災・広島

　劇作家・野田秀樹×民俗学者・赤坂憲雄

◇懐かしのわが友・井上ひさし　文・小川荘六（『心友　素顔の井上ひさし』著

◇人形劇の歴史は「ひょっこりひょうたん島」から始まった　文・池田憲章

◇井上ひさしの江戸　文・渡辺憲司

◇井上ひさしの東京　小沢昭一との交遊録　文・矢野誠一

◇だから遅筆になる　ノンフィクションとフィクションの狭間　文・川本三郎

◇こまつ座で見た夢　文・小田豊二

◇井上ひさしの「不在」を現代に問う　　文・後藤隆基

◇インタビュー　井上麻矢（こまつ座代表）／辻萬長／大竹しのぶ／藤原竜也

◇エッセイ　「私のお気に入り」　長塚圭史、宮藤官九郎、蓬莱竜太、マキノノゾミ、伊坂幸太郎ほか

【ご注文先】　都市出版株式会社 　TEL０３－３２３７－１７０５　　市川、久崎（ひさざき）行

**FAX０３－３２３７－７３４７　　　　　　　申し込み締切9月1２日**

　　　　　　↓帖合印　　　　　　　　　　年　　　　月　　　　日

**月刊「東京人」２０２０年11月号**

**特集「井上ひさしとは何者だったのか」**

**雑誌コード　16725-11**

**定価950円（本体864円）**

冊